

**品詞** Q1. 古文の一文を、「ネ」を入れて不自然にならない範囲で短く区切ったひとまとまりを何というか。

ア 単語

イ 文節

ウ 段落

エ 品詞

**品詞** Q2. 単語のうち、それだけで意味が分かり、文節の先頭に立つ語を何というか。

ア 付属語

イ 体言

ウ 自立語

エ 用言

**品詞** Q3. 自立語は一つの文節にいくつあるか。

ア 必ず一つ

イ 必ず二つ

ウ 0のこともある

エ 決まっていない

**品詞** Q4. 付属語にあたる品詞の組み合わせとして正しいものを選べ。

ア 名詞と動詞

イ 副詞と連体詞

ウ 接続詞と感動詞

エ 助動詞と助詞

品詞 Q5. 助動詞と助詞の違いとして正しいものを選び。

ア 助動詞は活用し、助詞は活用しない

イ 助詞は活用し、助動詞は活用しない

ウ どちらも活用する

エ どちらも活用しない

品詞 Q6. 用言にあたる品詞の組み合わせとして正しいものを選び。

ア 名詞・副詞

イ 動詞・形容詞・形容動詞

ウ 助動詞・助詞

エ 連体詞・接続詞

品詞 Q7. 体言とは、どの品詞のことか。

ア 動詞

イ 形容詞

ウ 名詞

エ 副詞

品詞 Q8. 「庭の花いとうつくし。」の傍線部「いと」の品詞を選び。

ア 副詞

イ 形容詞

ウ 連体詞

エ 助動詞

品詞 Q9. 「庭の花いとうつくし。」の傍線部「うつくし」の品詞を選び。

ア 形容動詞

イ 副詞

ウ 動詞

エ 形容詞

品詞 Q10. 「夜はいと静かなり。」の傍線部「静かなり」の品詞を選べ。

ア 形容動詞

イ 形容詞

ウ 動詞

エ 助動詞

品詞 Q11. 「あらゆる人、これを見る。」の傍線部「あらゆる」の品詞を選べ。

ア 動詞

イ 連体詞

ウ 副詞

エ 形容詞

品詞 Q12. 「されば、人々みな笑ふ。」の傍線部「されば」の品詞を選べ。

ア 副詞

イ 感動詞

ウ 接続詞

エ 助詞

品詞 Q13. 「あはれ、いみじき夜かな。」の傍線部「あはれ」の品詞を選べ。

ア 感動詞

イ 形容動詞

ウ 副詞

エ 名詞

品詞 Q14. 「山の桜咲く。」の傍線部「の」の品詞を選べ。

ア 助動詞

イ 接続詞

ウ 副詞

エ 助詞

品詞 Q15. 「翁、竹を取りけり。」の傍線部「けり」の品詞を選べ。

ア 助詞

イ 助動詞

ウ 動詞

エ 形容詞

品詞 Q16. 「山の端に月出づ。」の傍線部「月」の品詞を選べ。

ア 動詞

イ 副詞

ウ 名詞

エ 連体詞

品詞 Q17. 形容詞と形容動詞の言い切りの形の組み合わせとして正しいものを選べ。

ア 形容詞「なり」・形容動詞「し」

イ 形容詞「し」・形容動詞「なり・たり」

ウ どちらも「し」

エ どちらも「なり」

品詞 Q18. 副詞の説明として正しいものを選べ。

ア 活用して文末に来る

イ 体言だけを修飾する

ウ 独立して感動を表す

エ 活用せず、主に用言を修飾する

品詞 Q19. 「人の心を知らず。」の傍線部「ず」の品詞を選べ。

ア 助詞

イ 動詞の一部

ウ 助動詞

エ 副詞

**品詞** Q20. 「やうやう白くなりゆく山ぎは」(枕草子)の傍線部「やうやう」の品詞を選べ。

ア 副詞

イ 形容詞

ウ 連体詞

エ 形容動詞

**活用形** Q21. 活用形六つを正しい順に並べたものを選べ。

ア 未然形→連用形→終止形→連体形→已然形→命令形

イ 連用形→未然形→終止形→已然形→連体形→命令形

ウ 未然形→連体形→終止形→連用形→命令形→已然形

エ 終止形→連体形→已然形→未然形→連用形→命令形

**活用形** Q22. 打消の助動詞「ず」が付くとき、すぐ上の語の活用形を選べ。

ア 連用形

イ 終止形

ウ 未然形

エ 已然形

**活用形** Q23. 過去の助動詞「けり」が付くとき、すぐ上の語の活用形を選べ。

ア 未然形

イ 終止形

ウ 連体形

エ 連用形

**活用形** Q24. 下に体言(名詞)が続くとき、上の用言の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 連体形

ウ 已然形

エ 命令形

活用形 Q25. 「風吹けば、花散る。」の傍線部「吹け」の活用形を選べ。

ア 未然形

イ 命令形

ウ 終止形

エ 已然形

活用形 Q26. 「風吹かば、花散らむ。」の傍線部「吹か」の活用形を選べ。

ア 未然形

イ 已然形

ウ 連用形

エ 終止形

活用形 Q27. 「花咲きけり。」の傍線部「咲き」の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 連用形

ウ 未然形

エ 連体形

活用形 Q28. 「庭に鳥鳴く。」(文末)の傍線部「鳴く」の活用形を選べ。

ア 連体形

イ 已然形

ウ 終止形

エ 連用形

活用形 Q29. 「咲く花を見る。」の傍線部「咲く」の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 連用形

ウ 未然形

エ 連体形

活用形 Q30. 「はや行け。」の傍線部「行け」の活用形を選べ。

ア 命令形

イ 已然形

ウ 終止形

エ 未然形

活用形 Q31. 「花散りて、春過ぐ。」の傍線部「散り」の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 連体形

ウ 連用形

エ 未然形

活用形 Q32. 「人の心を知らず。」の傍線部「知ら」の活用形を選べ。

ア 連用形

イ 未然形

ウ 終止形

エ 已然形

活用形 Q33. 「うつくしき花あり。」の傍線部「うつくしき」の活用形を選べ。

ア 連体形

イ 終止形

ウ 連用形

エ 已然形

活用形 Q34. 「静かなる夜、月を見る。」の傍線部「静かなる」の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 連体形

ウ 已然形

エ 連用形

活用形 Q35. 「月日静かに過ぐ。」の傍線部「静かに」の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 連用形

ウ 連体形

エ 未然形

活用形 Q36. 係助詞「ぞ・なむ・や・か」があるとき、文末（結び）の活用形を選べ。

ア 已然形

イ 終止形

ウ 連体形

エ 命令形

活用形 Q37. 係助詞「こそ」があるとき、文末（結び）の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 連体形

ウ 命令形

エ 已然形

活用形 Q38. 「花ぞ咲きける。」の傍線部「ける」の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 連体形

ウ 已然形

エ 未然形

活用形 Q39. 「風こそ吹け。」の傍線部「吹け」の活用形を選べ。

ア 已然形

イ 命令形

ウ 終止形

エ 連用形

活用形 Q40. 「月を見む。」の傍線部「見」の活用形を選べ。

ア 連用形

イ 終止形

ウ 未然形

エ 連体形

活用形 Q41. 「昔、男ありけり。」(伊勢物語)の傍線部「あり」の活用形を選べ。

ア 終止形

イ 未然形

ウ 已然形

エ 連用形

活用形 Q42. 「竹取の翁といふ者ありけり」(竹取物語)の「いふ」の活用形を選べ。

ア 連体形

イ 終止形

ウ 連用形

エ 已然形

活用形 Q43. 助動詞「べし」の接続(すぐ上の活用形)を選べ。

ア 未然形

イ 終止形(ラ変型には連体形)

ウ 連用形

エ 已然形

活用形 Q44. 「人々みな行くべし。」の傍線部「行く」の活用形を選べ。

ア 連体形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 未然形

活用形 Q45. 「奥に人あるべし。」の傍線部「ある」の活用形を選べ。

ア 連体形

イ 終止形

ウ 命令形

エ 已然形

活用形 Q46. 「いざ、ともに死なむ。」の傍線部「死な」の活用形を選べ。

ア 連用形

イ 終止形

ウ 已然形

エ 未然形

活用形 Q47. 「死にけり」の傍線部「死に」の活用形を選べ。

ア 連用形

イ 未然形

ウ 終止形

エ 連体形

活用形 Q48. 「花も咲かなむ。」(～してほしい)の傍線部「咲か」の活用形を選べ。

ア 連用形

イ 已然形

ウ 未然形

エ 終止形

活用形 Q49. 「月を見て、歌をよむ。」の傍線部「見」の活用形を選べ。

ア 未然形

イ 連用形

ウ 終止形

エ 命令形

**活用形** Q50. 活用形を見分けるいちばんのコツとして正しいものを選び。

ア すぐ上の語を見る

イ 語の長さで決める

ウ 先に現代語訳して感覚で決める

エ 下に何が続いているかを見る

**分解** Q51. 「ありけり」はいくつの単語に分かれるか。

ア 一語

イ 二語

ウ 三語

**分解** Q52. 「咲きにけり」はいくつの単語に分かれるか。

ア 二語

イ 四語

ウ 三語

**分解** Q53. 「花の色」はいくつの単語に分かれるか。

ア 三語

イ 二語

ウ 一語

**分解** Q54. 「都へ行く人」を単語に分けたものとして正しいものを選び。

ア 都へ／行く人

イ 都／へ／行く／人

ウ 都／へ行く／人

エ 都へ行く／人

分解 Q55. 「庭の桜散る。」は何語に分かれるか。

ア 四語

イ 三語

ウ 五語

分解 Q56. 「思ひ出づ」(思い出す)はいくつの単語か。

ア 一語

イ 二語

ウ 三語

分解 Q57. 「うち泣く」の説明として正しいものを選び。

ア 動詞+動詞の二語

イ 副詞+動詞の二語

ウ 助動詞+動詞の二語

エ 接頭語「うち」が付いた一語の動詞

分解 Q58. 「あはれなり」(しみじみと趣深い)の説明として正しいものを選び。

ア 名詞+断定の助動詞の二語

イ 感動詞+動詞の二語

ウ 一語の形容動詞

エ 名詞+伝聞の助動詞の二語

分解 Q59. 「静かならず」はいくつの単語に分かれるか。

ア 二語

イ 三語

ウ 一語

分解 Q60. 「これは夢なりけり。」の「なりけり」の説明として正しいものを選び。

ア 一語の助動詞

イ 動詞「なる」+「けり」の二語

ウ 断定の助動詞「なり」の連用形+過去の助動詞「けり」の二語

エ 形容動詞の一部

分解 Q61. 「ものも言はざりけり。」の「ざりけり」の説明として正しいものを選び。

ア 一語の助動詞

イ 動詞+助詞の二語

ウ 形容詞の一部

エ 打消「ず」の連用形「ざり」+過去「けり」の二語

分解 Q62. 「帰るべかりけり」の「べかりけり」はいくつの単語か。

ア 一語

イ 三語

ウ 二語

分解 Q63. 「行きたりけり」はいくつの単語に分かれるか。

ア 二語

イ 四語

ウ 三語

分解 Q64. 「知らざりけり」はいくつの単語に分かれるか。

ア 二語

イ 三語

ウ 四語

分解 Q65. 「野山にまじりて」(竹取物語)を単語に分けたものとして正しいものを選び。

ア 野山に／まじりて

イ 野山／に／まじり／て

ウ 野山／にまじり／て

エ 野山／に／まじりて

分解 Q66. 「竹を取りつつ」(竹取物語)は何語に分かれるか。

ア 三語

イ 五語

ウ 四語

分解 Q67. 「よろづのことに使ひけり」(竹取物語)は何語に分かれるか。

ア 五語

イ 六語

ウ 七語

分解 Q68. 「今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。」(竹取物語)は全部で何語に分かれるか。

ア 九語

イ 十三語

ウ 十一語

分解 Q69. 「うつくしからず」はいくつの単語か。

ア 二語

イ 一語

ウ 三語

分解 Q70. 「あらず」はいくつの単語か。

ア 一語

イ 二語

ウ 三語

分解 Q71. 「思ひけり」はいくつの単語か。

ア 三語

イ 一語

ウ 二語

分解 Q72. 「飛び立つ」はいくつの単語か。

ア 二語

イ 一語

ウ 三語

分解 Q73. 「山にあり」はいくつの単語か。

ア 二語

イ 三語

ウ 一語

分解 Q74. 「悲しければ」の「悲しけれ」の説明として正しいものを選び。

ア 「悲しけ」+「れ」の二語

イ 「悲し」+「けれ」の二語

ウ 動詞+助動詞の二語

エ 一語 (形容詞「悲し」の已然形)

分解 Q75. 「寒かりけり」はいくつの単語か。

ア 二語

イ 一語

ウ 三語

分解 Q76. 「あはれなりけり」はいくつの単語か。

ア 三語

イ 二語

ウ 一語

分解 Q77. 「春はあけぼの。」(枕草子)を単語に分けたものとして正しいものを選び。

ア 春は／あけぼの

イ 春／は／あけぼの

ウ 一語のまま

分解 Q78. 「庭になし」はいくつの単語か。

ア 三語

イ 二語

ウ 四語

分解 Q79. 「ありがたし」(めったにない)の説明として正しいものを選び。

ア 「あり」＋「がたし」の二語

イ 「あり」＋「がた」＋「し」の三語

ウ 一語の形容詞

エ 動詞＋助動詞の二語

分解 Q80. 「花咲きぬべし」はいくつの単語に分かれるか。

ア 三語

イ 五語

ウ 四語

識別 Q81. 「花咲きぬ。」の傍線部「ぬ」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 完了の助動詞「ぬ」の終止形

イ 打消の助動詞「ず」の連体形

ウ ナ変動詞の一部

エ 接続助詞

識別 Q82. 「咲かぬ花もあり。」の傍線部「ぬ」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 完了の助動詞「ぬ」の終止形

イ 完了の助動詞「ぬ」の連体形

ウ 打消の助動詞「ず」の連体形

エ 過去の助動詞

識別 Q83. 「ぬ」が完了か打消かを見分ける決め手として正しいものを選び。

ア 文の長さ

イ 直前の活用形（連用形なら完了・未然形なら打消）

ウ 句読点の位置

エ 主語の人称

識別 Q84. 「行かねば」の傍線部「ね」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 完了の助動詞「ぬ」の命令形

イ ナ変動詞の一部

ウ 打消の助動詞「ず」の已然形

エ 願望の終助詞

識別 Q85. 「はや行きね。」の傍線部「ね」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 完了の助動詞「ぬ」の命令形

イ 打消の助動詞「ず」の已然形

ウ 念押し of 終助詞

エ 動詞の一部

識別 Q86. 「これは夢なり。」の傍線部「なり」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 伝聞・推定の助動詞

イ 動詞「なる」の連用形

ウ 形容動詞の活用語尾

エ 断定の助動詞「なり」の終止形

識別 Q87. 「男もすなる日記といふものを」(土佐日記)の傍線部「なる」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 伝聞・推定の助動詞「なり」の連体形

イ 断定の助動詞「なり」の連体形

ウ 動詞「なる」の連体形

エ 形容動詞の活用語尾

識別 Q88. 「女もしてみむとてするなり」(土佐日記)の傍線部「なり」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 伝聞・推定の助動詞

イ 断定の助動詞「なり」の終止形

ウ 動詞「なる」

エ 形容動詞の活用語尾

識別 Q89. 「夜はいと静かなり。」の傍線部「なり」の説明として正しいものを選び。

ア 断定の助動詞

イ 一語の形容動詞「静かなり」の活用語尾

ウ 伝聞・推定の助動詞

エ 動詞

識別 Q90. 次のうち、「に」が完了の助動詞「ぬ」の連用形であるものを選び。

ア 花散りにけり

イ 山に登る

ウ 静かに過ぐ

エ これ、夢にこそあれ

識別 Q91. 次のうち、「に」が断定の助動詞「なり」の連用形であるものを選び。

ア 花散りにけり

イ これ、梅の花にこそあれ

ウ 京に上る

エ おろかに見ゆ

識別 Q92. 次のうち、「し」が過去の助動詞「き」の連体形であるものを選び。

ア うつくし

イ 名にし負はば

ウ 見し人

エ うれしき

識別 Q93. 「ふるさとのこと、おのづから思ひ出でらる。」の傍線部「らる」の意味として正しいものを選び。

ア 受身

イ 尊敬

ウ 可能

エ 自発

識別 Q94. 「童に文を書かす。」の傍線部「す」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 使役の助動詞「す」の終止形

イ 尊敬の助動詞

ウ サ変動詞の一部

エ 過去の助動詞

識別 Q95. 「帝、笑はせたまふ。」の傍線部「せ」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 使役の助動詞

イ 過去の助動詞「き」の未然形

ウ 尊敬の助動詞「す」の連用形

エ サ変動詞の一部

識別 Q96. 「花を見む。」の傍線部「む」の意味として正しいものを選び。

ア 意志（～よう）

イ 打消

ウ 過去

エ 完了

識別 Q97. 「今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。」(竹取物語)の傍線部「けり」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 完了の助動詞

イ 過去の助動詞「けり」の終止形

ウ 断定の助動詞

エ 接続助詞

識別 Q98. 「この花、咲きぬべし。」の傍線部「ぬ」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 打消の助動詞「ず」の連体形

イ ナ変動詞の一部

ウ 伝聞・推定の助動詞

エ 完了(強意)の助動詞「ぬ」の終止形

識別 Q99. 「三寸ばかりなる人、いとうつくしうてみたり。」(竹取物語)の傍線部「なる」の文法的説明として正しいものを選び。

ア 伝聞・推定の助動詞

イ 動詞「なる」

ウ 形容動詞の活用語尾

エ 断定の助動詞「なり」の連体形

識別 Q100. 「風吹けば、花散りぬべし。」は全部でいくつの単語に分かれるか。

ア 六語

イ 八語

ウ 七語

エ 九語